

児童発達支援又は放課後等デイサービス事業に係る自己評価結果公表用

(別添様式2)

公表日: 2023年12月28日

事業所名:カルティボ キッズ

サービス種類:(例:児童発達支援・放課後等デイサービス)

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
環境・体制整備	1 利用定員に応じた指導訓練室等スペースの十分な確保	運動プログラムも行えるプレイルームと個別に勉強できる勉強ルームに分けて、十分なスペースの確保をしている。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・2部屋に分かれるなど、十分。	ご希望があれば内覧していただく機会を設ける
	2 職員の適切な配置	保育士、児童指導員と経験豊富な職員を配置している。言語聴覚士、理学療法士等の専門職員も募集をかけている。	はい=21 どちらともいえない=1 いいえ=0 わからない=2 ・目が行き届いており、安心に通所させられる。	多くてもお子様二人に対して指導員が一人付くように配置している。
	3 本人にわかりやすい構造、バリアフリー化、情報伝達等に配慮した環境など障害の特性に応じた設備整備	視覚優位の児童に分かりやすくイラストで一日の流れを説明したり、やってはいけないことを知らせたりして効果を上げている。	はい=23 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=1 ・色分けされ、名札もあり、十分。 ・初めに見たきりなので、分からない。	視覚優位の児童により分かりやすく、イラストと文字を用いてを使用していく。ご希望があれば内覧していただく機会を設ける。
	4 清潔で、心地よく過ごせ、子ども達の活動に合わせた生活空間の確保	清掃は朝、昼、夕方に行っており、子どもの入れ替え時には使用した物を除菌するようにしている。スタッフ、子ども達が外から室内に入って来た時は、除菌手洗い、うがいをしっかりするように指導している。ペーパータオルの使用、アルコール消毒の徹底、空気洗浄機の導入を行っている。換気も定期的に行っている。	はい=23 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=1 ・子ども目線でも、過ごしやすいと感じます。 ・室内では裸足だが汚れてくることはない。 座ってする勉強と、体を動かす場が分かれているので、切り替えしやすいと思う。	引き続き職員全員でチェックして、清掃する。
業務改善	1 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)への職員の積極的な参画	朝礼、昼礼、スタッフミーティングにおいてPDCAをチェックし意見を交換し取り入れている。		引き続き業務について、計画から見直しに至るまで手順を明確にし、PDCAを活用し業務改善に努める。
	2 第三者による外部評価を活用した業務改善の実施	第三者評価は現在行っていない。		保護者様のご意見を聞きつつ、必要があれば設置していく。
	3 職員の資質の向上を行うための研修機会の確保	内部研修を定期的に行うとともに、外部の研修についても告知し研修できる体制を整えている。		引き続き、内外研修に積極的に参加し、資質の向上に努める。
1	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の作成	利用日の様子を記録をしスタッフの意見を取り入れ保護者の方と面談(モニタリング)をしてから支援計画書を作成している。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・子どもの状態の変化に合わせて、柔軟に対応されていると思う。	今後も、引き続き取り組む。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
適切な支援の提供	2 子どもの状況に応じ、かつ個別活動と集団活動を適宜組み合わせた児童発達支援又は放課後等デイサービス計画の作成	子どもの状況に合わせながら個別プログラムを実施しつつ、集団活動を行っている。また発達状況を常に見極め記録し、個別と集団活動とその記録をスタッフミーティングで検討し個別支援計画書の作成を行っている。		今後も引き続き取り組む。
	3 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画における子どもの支援に必要な項目の設定及び具体的な支援内容の記載	個別支援計画書の項目に、日常生活、運動、コミュニケーション等を主要項目として設定している。また、保護者様の要望等を取り入れた項目を入れながら作成している。支援方法についてはスタッフ間で話し合いながら、具体的な方法を記載している。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・困りごと1つずつ、長期的な目標と短期間でクリアできそうな課題があり、分かりやすい。任せられる。	今後も、継続しながら、より支援の内容の充実した支援計画書の記載に努めるようアセスメント会議を充実させる。
適切な支援の提供(続き)	4 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画に沿った適切な支援の実施	個別支援計画書の内容を朝礼や昼礼などで再確認し適切な支援が行われているか児発管、指導員が常に意見を交換し、適切な支援の実施を行っている。	はい=22 どちらともいえない=1 いいえ=0 わからない=0 ・大きくは支援計画に沿っていて、その時の困りごとに対処して下さる。	引き続き、子ども達の成長を注意深く観察し、支援計画書の内容を随時スタッフ、保護者の方と相談説明を行い適切な支援の実施を行うよう心掛けている。
	5 チーム全体での活動プログラムの立案	職員間で話し合い、活動プログラムの立案している		スタッフからの意見やご利用される方の希望などを取り入れて個別対応やチーム全体でできる楽しく参加できる活動プログラムを立案していく。
	6 平日、休日、長期休暇に応じたきめ細やかな支援	平日は学校の放課後対応として宿題、個別課題、集団プログラムを行い、休日にはわくわくプログラムや外出体験、長期休暇時にはそれぞれの季節に応じたプログラムを作成して対応している。		今後も引き続き取り組む。
	7 活動プログラムが固定化しないような工夫の実施	ミーティングを通して活動プログラムは常に見直し、マンネリ化しないように新しいアイデアを常に提案できる体制を取っている。また新型コロナウイルスの5類化に伴い、クッキングの機会を取り入れている。	はい=21 どちらともいえない=2 いいえ=1 わからない=0 ・季節ごとの工作や遠足もあり、本人がとても楽しみにしている。 ・固定化されている様に感じる。	引き続き、活動プログラムの固定化、マンネリ化しないように情報収集を行い、スタッフ間の情報共有、保護者の方との意見交流を行っていく。
8 支援開始前における職員間でその日の支援内容や役割分担についての確認の徹底	朝礼、昼礼時には当日利用予定の子どもたちの個別支援計画書の内容を確認し、それぞれの目標にあった支援が実施出来るようにしている。また、変更等がある時には的確に指導員間で伝達確認出来るようにしている。		今後も引き続き支援前ミーティングを行う。	

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
)	9	支援終了後における職員間でその日行われた支援の振り返りと気付いた点などの情報の共有化	個別支援ファイルを作成し、スタッフが最新の状況、情報を確認できるようにしている。また業務日誌は児発管が日々確認をしている。	今後引き続き、取り組む。
	10	日々の支援に関しての正確な記録の徹底や、支援の検証・改善の継続実施	個別支援ファイルや業務日報の正確な記録をし、受け入れ前のミーティングで直近の出来事を話し合い、支援内容の検証、改善は常に行い指導員間で情報の共有をしている。	今後引き続き、取り組む。
	11	定期的なモニタリングの実施及び児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画の見直し	定期的なモニタリングは最低6か月に1回行っているが、支援の内容変更が確認された際には随時行っている。	今後引き続き、取り組む。
関係機関	1	子どもの状況に精通した最もふさわしい者による障害児相談支援事業所のサービス担当者会議への参画	相談支援事業所のサービス担当者と電話や面談にて会議を実施して。その際は児発管や担当指導員が参加するようにしている。	今後引き続き、取り組む。
	2	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援の実施		
	3	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制の整備		
	4	児童発達支援事業所からの円滑な移行支援のため、保育所や認定こども園、幼稚園、小学校、特別支援学校(小学部)等との間での支援内容等の十分な情報共有	送迎時学校の先生などにお会いした場合には積極的に学校での様子などを聞くようにしている。 必要に応じて学校、事業者間で連携を計り、情報共有を行っている。	今後引き続き、取り組む。
	5	放課後等デイサービスからの円滑な移行支援のため、学校を卒業後、障害福祉サービス事業所等に対するそれまでの支援内容等についての十分な情報提供	小学生までの放課後等デイサービスなので、現在は行っていない。必要な状況になれば情報共有を行っていきたい。	今後引き続き、取り組む。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
関との連携	6 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携や、専門機関での研修の受講の促進	専門機関と連携、研修受講の促進は今後とも行っていく予定である。		引き続き、積極的に研修会等に参加する。
	7 児童等発達支援の場合の保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、放課後等デイサービスの場合の放課後児童クラブや児童館との交流など、障害のない子どもと活動する機会の提供	地域のイベント等に参加し、事業所以外の人との関わりを持つことが出来るようにしている。	はい=10 どちらともいえない=5 いいえ=0 わからない=9 ・利用者の兄弟、下の子などのふれあいの日などあったら、お友達や本人の姿(成長)など見れるので、嬉しいかなと思ったりします。大変だと思いますが…交流があるのかは、わかりません。 ・こういった交流をしているかは分かりませんが、地域の学校で色んな子と十分に交流しているので、気になりません。 ・障害の有無というより、様々な年齢のお兄さんお姉さんと同じ空間で、過ごさせていただいています。 ・今はできない時期なので、いずれはそのような機会もあればと思う。	個人情報の観点から、難しいことが多いものの、ご兄弟様などに来ていただき、一緒に関わる事が出来る機会を作っていくことを検討している。また指導員の子どもと関わる機会等を検討している。
	8 事業所の行事への地域住民の招待など地域に開かれた事業の運営	個人情報の観点から、現状は行っていない。		保護者様からのご要望があれば検討していく。
	1 支援の内容、利用者負担等についての丁寧な説明	保護者に対して支援内容と利用者負担については見学会、モニタリング、重要事項説明時、契約書締結時に丁寧な説明とともに行っている。 ご利用者の実費負担については毎月の会報でご連絡している。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・大丈夫です。	たくさんの保護者の方々から丁寧な説明を頂いていると評価いただき、一層ご期待に添えるようにしたい。
	2 児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明	支援計画を示しながらの支援内容の丁寧な説明を心がけており、内容の変更があれば随時行っている。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・大丈夫です。分かりやすいし、子供に合っていると思う。	保護者の方に分かり易い支援内容の計画書作成と丁寧な説明を今後も継続していく。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
保護者への説明責任・連携支援	3	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対するペアレント・トレーニング等の支援の実施	保護者から相談依頼があった際には時間を設け、個別に対応している。その際にはご自宅で出来る事、声のかけ方等をお伝えし、家庭でも出来る支援の方法、考え方をお話している。	はい=14 どちらともいえない=3 いいえ=0 わからない=6 ・ペアレント・トレーニングの意味がよくわからずです。すみません。 ・利用したことがないので、わからないにしています。 ・都度、困りごとへの対応の仕方を助言してくれています。 ・どういったものなのか分からない。	今後お手紙等にアドバイスや家庭で出来る支援の方法等を記載し、お知らせしていく。
	4	子どもの発達の状況や課題について、日頃から保護者との共通理解の徹底	子どもの発達の状況や課題は、日ごろから保護者との共通理解をもつために連絡帳、電話、メール、送迎時を通して徹底している。	はい=23 どちらともいえない=1 いいえ=0 わからない=0 ・普段から細かく相談したり、アドバイスをいただいて本当に助かっています。姉弟間の事等も相談に乗っていただき心強かったです。 ・利用の度にできたこと、やらなくなってしまうことなど、家庭外での様子がわかりやすく伝えてもらえる。	今後も保護者の方とへの連絡、報告など共通理解を得るため、徹底する。
	5	保護者からの子育ての悩み等に対する相談への適切な対応と必要な助言の実施	保護者からの子育て悩みに対する相談へは適切に対応できるよう心掛けており、必要な助言はスタッフと情報共有を行っている。	はい=23 どちらともいえない=1 いいえ=0 わからない=0 ・こまめに助言くださり、ありがとうございます。 ・対応に困ったらすぐに相談でき、対処法を考えてくれます。	今後も引き続き、悩みに対する相談は細かな点からも気が付くように職員一同心掛けていく。
	6	父母の会の活動の支援や、保護者会の開催による保護者同士の連携支援	本年度は実施できなかった。	はい=6 どちらともいえない=6 いいえ=2 わからない=10 ・こちらの事業所では必要ないのかなと思います。(放課後等デイサービス利用者としての意見です。) ・コロナ禍で難しい状況が続いているので仕方ないが、できるようになれば嬉しいです。 ・保護者会などの日程は、平日が多いため参加できない。	来年度以降、平日の午前等を利用して交流の場を作っていきたいと考えている。
	7	子どもや保護者からの苦情に対する対応体制整備や、子どもや保護者に周知及び苦情があった場合の迅速かつ適切な対応	重要事項説明書に明記しており、契約時には必ず説明している。	はい=18 どちらともいえない=1 いいえ=0 わからない=5 ・苦情はないが、あっても対応は素早く解決されていると思われます。	引き続き、皆様に満足していただけるような支援を目指す。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容	
	8	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮	送迎時に情報を共有して意志の疎通を図るようにしている。並びに電話、メールやLINEのチェックを日々行うようにしている。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・とても気を遣われている。	引き続き、メールやLINE、電話等を利用してながら情報伝達を行っていく。
	9	定期的な会報等の発行、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報についての子どもや保護者への発信	毎月の会報はLINEまたは用紙で行い、活動概要や行事予定、連絡体制等はメールやLINE、電話、訪問時で的確に情報発信できるようにしている。 またSNSを用い、活動内容をよりイメージできるように発信している。	はい=23 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=1 ・毎月のお便りは楽しみにしています。	引き続き、会報、活動概要、行事が分かりやすく楽しめる内容にしていく。
	10	個人情報の取扱いに対する十分な対応	個人情報保護法の周知徹底を行い、日々の業務、仕事以外での個人情報の保護に職員間意識を徹底している。	はい=23 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=1 ・他児の情報は名前がわかる程度です。 (子供が話すから分かるだけ)	引き続き個人情報についての研修を定期的に行う。
非常時等の対応	1	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルの策定と、職員や保護者への周知徹底	各マニュアルを策定しファイリングして職員が閲覧できるようにしている。保護者の方にはご希望があれば閲覧できる環境を整えている。	はい=24 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=0 ・大丈夫です。	引き続き職員ミーティング等でマニュアルの周知徹底を行いながら、変更点等あれば随時見直しを実施していく。
	2	非常災害の発生に備えた、定期的に避難、救出その他必要な訓練の実施	消防署の行っている救命救急の研修には積極的に参加している。また避難訓練は火災、防災等を年に2回以上行っている。	はい=23 どちらともいえない=0 いいえ=0 わからない=1 ・事前に子供に伝えられ、パニックにならないよう配慮されて行われています。	会報等で避難訓練の実施の予定や結果をお知らせしていく。
	3	虐待を防止するための職員研修機の確保等の適切な対応	内部研修を定期的に行うとともに、外部研修にも積極的に参加している。		引き続き、実施していく。
	4	やむを得ず身体拘束を行う場合における組織的な決定と、子どもや保護者に事前に十分に説明し、了解を得た上での児童発達支援計画又は放課後等デイサービス計画への記載	身体拘束防止委員会を設置し、毎月のミーティングで身体拘束に該当する行為がないかの確認を行っている。お子様の安全確保のため、行動の制止を行わなければならない事に対しては保護者様に必ず説明を行うようにしている。		引き続き、全員で注意しながら身体拘束を行わない療育を実施する。

区分	チェック項目	現状評価(実施状況・工夫点等)	保護者の評価	保護者の評価を踏まえた改善目標・内容
5	食物アレルギーのある子どもに対する医師の指示書に基づく適切な対応	契約時に食物アレルギーについて聞き取りをしておき職員に周知徹底している。またおやつ準備の際には必ずアレルギーシートを確認している。		引き続き、おやつ時には食物アレルギー表を確認するよう徹底していく。
6	ヒヤリハット事例集の作成及び事業所内での共有の徹底	ヒヤリハット事例集は作成しており、朝礼時に共有しながら再発防止に努めている。		職員全体で情報共有し検証および対策を講じる姿勢を継続する。